

# 作品解説

## 第 17 回

### 塊展

#### クラシックゾーン

8	石川	電啓
14	Lori	
15	金平	英
20	隠樹	万友子
21	小幡	智子
25	上田	真樹
30	はりつけ	
32	堺	浩一
36	森實	春美

#### アクティブゾーン

40	ひいこ	
42	真野	日喜朗
43	宮城	友見
45	淵上	真友美
51	布川	舞
61	上西	久美子
63	Lisa Kudo	
63	タカサカ	タカ

#### ミックスゾーン

70	竹中	えり
74	岡本	愛弓
M4	矢島	豪
M7	Yoshie Isobe	
M14	yumi	

## 「春韻ノ旋」

七十万年前に隆起し誕生したと伝わる岩手山、その山裾に根を張り百余年の時をかける一本桜はわずか十日ほど色づき、咲き誇り、瞬く間に散り去る。

悠久から続く大自然の流転を象徴する桜花。その根元にはかつてあった社の名残として祠が細やかに祀られている。

形あるものやがて散り、風と去りゆく万物の命が交差するこの瞬間を写真にとらまえ結晶と化す。

春の旋風は還暦になぞらえ、その樹齢を記す二重の和を桜花の上で描く。

よもや点に過ぎない光が一筋の和になる姿は、茶の湯でいう心の境地であり大自然との尊い対話である。

満開を迎え、静かに花びらを散らしはじめる数時間前にドローンライティングを併用し画像凝結。暗闇の中、旋回飛行する点のみを目で追いかけてバルブシャッターを切る。

本作品のチーム編成はカメラマン、パイロット、補助者2名、交通誘導員5名体制での撮影となった。

石川 電啓

作品介绍 作者 Lori

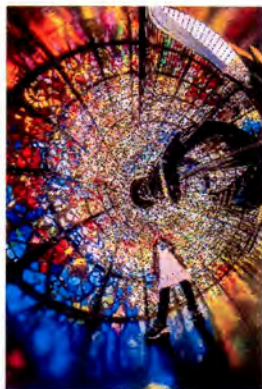
タイトル “To the Sky”

使用カメラ Ricoh Theta Z1 (360度カメラ)

撮影場所：大阪市内

Ricoh Theta 公式写真展/フォトコンテスト

Beauty is All Around 2023 アート部門 グランプリ受賞作品



タイトル “Stained Glass Dream”

使用カメラ insta360 One RS 1-inch 360 edition (360度カメラ)

撮影場所：箱根彫刻の森美術館

Insta 360 Awards Bronze 賞受賞作品。

#### 作者紹介

写真学科 4年(3年目)

360度カメラ、Ricoh Theta/ insta360 を使って作品作りをしています。まだまだ世間的には認知度が低く、作品を作っている人も数少ないですが、「360度カメラでもできる」「360度カメラだからこそできる」作品を目指して作っていきたいと思っています。

#### 受賞歴 (いずれも360度写真)

2018年 Ricoh Theta 公式写真展 Beauty is all around 入選

2019年大阪光の饗宴フォトコンテスト 入選

2020年リコーイメージングフォトコンテスト Theta 賞受賞

2021年 Ricoh Theta 公式写真コンテスト 入選 (3作品)

2021年リコーイメージングフォトコンテスト GR 部門銅賞受賞

2022年 Ricoh Theta 公式写真コンテスト 入選 (3作品)

2023年 insta360 “No Drone No Problem 賞” 受賞 (動画)

2023年 Insta360 Bronze Award 受賞(4作品)

2023年 Ricoh Theta 公式写真コンテスト アート部門グランプリ他入賞

2024年 佐川美術館 SNS フォトコンテスト優秀作入賞



Instagram / X (Twitter) で 毎日360度写真を投稿しています。

よろしければご覧ください。

# 消えゆくアトリエ

金平 英

西向きの大きなベランダが付いたアトリエが、つる草におおわれています。

年老いた画家が、他界して数十年。後継者もなくアトリエは放置されたままです。

現在は、画家の意欲だけが結晶化したように、輝いて見えますが、数年後には全て崩壊して、消え去ることでしょう。

これは、高齢化社会の寸景です。

「仏性」 副題 普遍意識 隠樹 万友子(おき まゆこ) 大阪芸大通信教育 美術学科在籍

油画、木枠にキャンバス

解説 絵の解説は「仏性」。仏教の言葉でなければ普遍意識でもよい。この世の色々にとらわれず仏性を本性とする姿勢を表現。「仏性」とは「一切衆生 悉有仏性」（一切衆生 悉く仏性有り）「涅槃経」命あるものは、すべて仏となる性質（可能性）を内にもっている。つまり、すべての人が仏に成るべき仏性を生まれながらに持っている。（臨済宗妙心寺派 大本山妙心寺 「012 生命をみつめる」より引用）<https://www.myoshinji.or.jp/houwa/archive/youth/012>

表現方法について カンディンスキーは偶然逆さのキャンバスを見て「抽象画」を発見した。逆さにすることで、これまでの認識が薄れる。これがモチーフでこれが背景という認識も薄れて一つの世界に見えるとき「私と世界は分離されているという固定観念」も薄れる。世界全体が自分という意識である。禅の公案「野鴨」も同じことを言っているように思う。

逆さキャンバスを見た鑑賞者が一瞬(何?)と視線を探るとき、その探している意識が自分だ。ただありのままの世界を認識する自分の意識がある。一瞬だがそれを体感できるよう表現した。

白線は、本来の自分である「仏性」を表す。私たちはこの現実を現実と思って現象に反応するが、色即是空、それらの自我の反応は反応で生じたことで普遍的なものではない。幻ではない本来の自己を「仏性」とした。

現象の観察者はも1人おり、英語話者なので、解説に掲載する内容の確認を英語でやりとりしていたため、そのまま掲載した。

"True mind and the changing circumstances"

Observation record of circumstances and true mind by abstract painting.

One day I looked all my works which I painted for 15 or 20 years. Each works are my aspects at that time. These are like different personas which reacted to each situations.

But suddenly I found something that flows through all the works. I named it water vein under each persona, ego of me.

The water vein could be called true mind (bussho), Buddha in Buddhism.

In this abstract painting, I've been painted through some "situations" and then watched and captured the image of bussho. All of this world of canvas is bussho. The world itself is the consciousness of the observer.

"The disturbances and defilements of the human mind are abused by greed as well as by its reactions to the changing circumstances" ( The teaching of Buddha)

When I saw the true mind, the meaning of reality has totally changed.

Observation record:

Once I had two dogs. One of them has passed away. At that time I was so sad and I said to his soul "please reborn to a human next time. I can even share you my soul of human to give life as a human. The name is the sign to find each other" I was thinking I will be able to know what he want to say when he is sick if he got human language.

Buddhism and Hinduism have the idea of reincarnation. I was thinking "the soul of animals can be saved when they reborn human and know Buddhism".

One day a person has shown and said "I'm thinking that my previous life was dog and you are my previous owner."

His name contains the address when we live together and his dog has almost the same name of the dog I had at the same time. They are my family.

He also said,"In my heart I know that I was a dog for a Japanese family in my previous life, and I'm happy to have found my precious owner again."



# GATHER TOGETHER

小幡智子

3年前、3年次に編入学し、2年間での卒業を目指して専攻の油画を（2倍速で？）学んで昨年卒業制作を終了しました。昨年の第16回塊展には卒業制作のエスキースを出品しました。（卒業制作作品はF150号とサイズが大きかったためF80号の小さいサイズで自宅で描いてみた作品でした。）

しかし・・・必須ではない版画と工芸を学ばないままに卒業してしまっているのか？せっかくの機会を逃しているのか？教職のために履修した工芸科目の楽しさ面白さに心を奪われ、4種類の版画（銅版、平版、孔版、木版）と3系統の工芸（金属工芸、陶芸、繊維工芸）を全て履修してから卒業すると決めました。この1年は版画と工芸に明け暮れたとても楽しい有意義な年でした。

今回の塊展では私の版画と工芸への愛の『結晶』を展示致しますのでご高覧下さいませ。

## 工芸+アクリル画

「GATHER TOGETHER」/ギャザーって美しい♪ 繊維工芸での出会いです。アブストラクトに仕立てました。スクーリングではギャザーのTシャツを制作し銀座で着用(笑)

## 版画（銅版）

1. 「dance in the rain」/銅版の多色刷りに挑戦しました。1回で刷っています。  
（版画と工芸ではしばしばチューリップをモチーフにしました。私のオランダ愛です。）
2. 「老婆 34° 44'N 135° 71'E IV」/卒業制作を銅版画で描いてみました。アクアチントで濃淡のグラデーションに苦労しました。

## 版画（シルクスクリーン）

3. 「Centre Pompidou Malaga」/絵画Ⅲの作品から展開、マラガのポンピドゥーセンター



1



2



3

「ワルシャワ不屈の熱意」 （作家：上田真樹）

ポーランドの首都、ワルシャワ歴史地区は世界遺産に登録されています。

一見、観光地化している様ですがその姿からは強い熱意が感じられます。

第2次世界大戦時に爆撃で街は廃墟と化しましたが、

戦後、国民によって街並みが完全復元され、

13～20世紀までの各時代の建築物が全て再建され現在見られるのです。

## 雪起こし

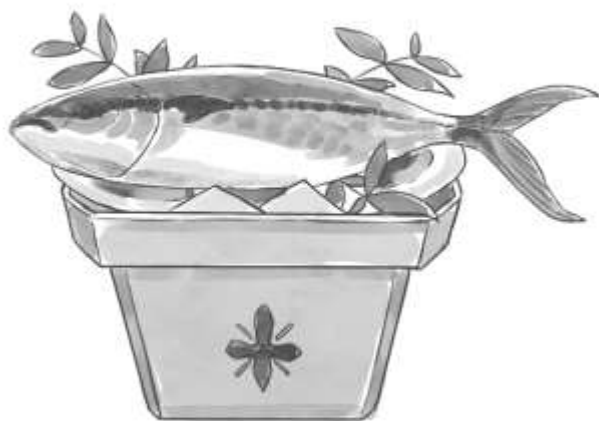
テーマの『結晶』から雪の結晶を連想し、『雪起こし』という言葉から着想をいただきました。

❄️『雪起こし』とは、冬が始まる頃に発生する雷のことで、地方によっては、「雪おろし」「鱒（ブリ）起こし」「鱒（ハタハタ）起こし」という呼び名もあります。今回の雪起こしは盛大だったようで鱒と共に龍やクジラも起きて来たようです。

上空に強い寒気が流れ込む季節になると、雷鳴が轟くのを号令に雪が降るようになります。そこから待ってましたと言わんばかりに雪たちが空から突撃する様子を描きました。

冬や雪のイメージである青と白が印象に残るよう、色味はシンプルですが、雪たちの衣装の装飾を増やして豪華でめでたいような雰囲気でもとめました。平面的な構成の絵になったので雷や雲の配置で流れを作りました。

はりつけ





# 「特製関西ミックス焼き」



制作 堺 浩一

## 【作品解説】

関西風お好み焼きには、多様な具材と共に焼きそばが入ったモダン焼きというものがあります。そのモダン焼きをモチーフに、大阪を中心とした関西各所で撮影した写真素材のピースをボリュームたっぷりにトッピングした、フォトコラージュの特製お好み焼きです。

## 【作品に登場している場所】

大阪

- ・大阪城 ・道頓堀エリア ・千日前エリア ・新世界 ・西成 ・鶴橋
- ・十三(お好み焼きの撮影場所である鉄板焼き店)

兵庫

- ・甲子園球場 ・神戸港 ・明石海峡 ・有馬温泉

和歌山

- ・白浜町

## \* 花の結晶 流れ \*

花の結晶 様々に変化する不思議な結晶を描きました。花が開くように広がる、青い色、白っぽい結晶、黄色い結晶、虹色の輝きに出逢え、やがてキャンパスに広がっていきます。また、いろいろな形や、2つとしても同じものができない、流れていく花のような形の粒、いろいろな結晶の形の楽しさを感じてください。

森實 春美

太陽や月の光を人の手によって灯せるのは、  
もっとも原始的な光である  
火

焚き火  
から  
薪（たきぎ）  
へさらに



松明に  
火は形をさらに変え



灯明皿



燭台



行灯  
から



現代の照明器具である電球や蛍光灯として変化してきた。  
これらの灯りは何世紀もかけて人の手によって変化しともさ  
れた光  
光の結晶なのです。

現代の光の結晶である電球で太陽の光を室内で思い起こせ  
ないか？  
と、陶器の器に灯してみました。

太陽を、太陽の光を思い起こせましたか？

ひいこ

## 作品解説

「テストステロン」とは簡単にいうと男性ホルモンのことです。私がこのテストステロンに興味を持ったのが、ただ骨と筋肉の形成や、健康的な男らしい姿や在り方に影響するホルモンというだけでないことです。

テストステロンは、リスクある行動を一步踏み出す力、社会性やリーダーシップ、つまり前に進む自信や、力につながるような、内側にある強さを感じるホルモンであるということに魅力を感じました。

私も男性ではありますが、あまり自分自身に対し、大胆で挑戦的で、ザ・男らしさという自己のイメージは感じておらず、どちらかという石橋を叩いて渡ったり(時には橋を壊してしましますが…)、慎重に時間をかけて決めたりするような人間です。そのため、まだ起こっていないことに不安がったり、先を読んで右往左往したり、口を開けば悩みしか話題になかったりと、なかなかめんどくさいです。

そんな、そのような男らしさに憧れ、絵のモチーフは筋肉や骨を選ぶようになり、今回の作品は「前進」をこめて描きました。これから、決めなければいけないことに悩みながらも腹をくくって、やらなければいけないことと向き合っていく姿と、透いて見える自身の芯の脆さ、内側に潜んでいる力強さを信じ、受け入れて前と上を見ていく様子を描きました。

最近、少しずつですが懸垂をとりあえず数回はできるようになりまして、自分の腕や身体がちょっと分厚くなったのか、リクルートスーツが少しきつくなっているのを実感しています。

### 【見てくださっている皆様に、最後お伝えしたいこと】

今回、急遽画材を変更しなければならず、油絵具から鉛筆(2H・4B)と木炭へ変更して描きました。

私が本来やりたかったこと、そして皆様に自信もってお見せできるクオリティの作品に仕上げることができなかつたことをお許しく下さい。

真野日喜朗 (日野真陽)



身近なものたち  
Objects around me

宮城友見



クロン

2年前に京都府から沖縄のやんばる（北部）に移りました。海と山に囲まれた、住民80人ほどの小さな集落に住んでいます。

モチーフは、ほとんど海岸で拾ったものです。クロンは、ウートトウ（祖先の仏壇）やヒヌカン（火の神）によく供えられている植物です。

私がここに住んで以来、身近になった物たちです。

自然の美しさに感動しつつ同時に怖いような畏敬の念をおぼえたり、自然の厳しさに振り回され、思い通りに行かないことが“普通”なんだと痛感した時、神という存在をととても身近に感じるようになりました。これが本来の人間の姿なのかも...と気づかせてくれたやんばるです。




サラサバテイ  
(タカセガイ)



ホソスジテツボラ



ホラガイ



「earthy, excavate, elements.」(ミックスゾーン展示作品)

—地面より発生していく、地中から地上へと現れるもの

「ester, ether, étoile.」(アクティブゾーン展示作品)

—空に輝く星や惑星より抽出される、天から地上へと降りてくるもの

今回展示している二つの作品は、それぞれ全体図が共通の形になっています。


配置や置いてある石などをぜひ見比べてみてください。

「earthy, excavate, elements.」では、まだ発生したばかりの荒削りな「要素」をイメージしています。「ester, ether, étoile.」ではそれらを取り出し、さらに具体的にしたもの、惑星や星座のイメージ、占星術の象徴を使った私自身の「要素」を表現しています。

文章を読む順番や色の選定、石の種類など、それぞれにほんのり意味を持たせてあります。

私という形を構成する結晶の「要素」をぜひご覧ください。

淵上 真友美





## 音と色彩

～風景化された音にもう一度生命力を～

拝啓

この度は、お忙しい中『第十七回 塊展』にお越しくださり誠にありがとうございます。  
ごさいます。音楽学科の布川舞です。

さて、本展では「音」と「色」を結びつけたインスタレーションをご用意致しました。その目的は、いつしか「聴く」ものから「聞く」ものへと変化してしまつた「音」に、もう一度耳を傾け、生命力を宿すことにあります。

なお、音の資料には、フランツ・リスト作曲《愛の夢 第三番》を選曲致しました。ご来場の皆様には、リストの「生涯」や「金言」とともに本公演を楽しんで頂けましたら幸いです。

最後に、皆様に重ねてお礼申し上げます。

敬具

令和六年三月九日

布川舞

ご来場の皆様

会期中

限定 60 個

手づくりブローチを

ご用意して

おります！



# せかい カンティガの世界

フェルト、59×77 cm、2024年 上西久美子

## がいよう ＜概要＞

### ネウマ譜

中世の修道士たちがカラフルな装飾を施した単旋聖歌の譜面

### 記譜法

いずれか一本の左端に音部記号を付して「ド」の音を決める（本作品の場合、一番上の第4線が「ド」）。人の声のために作られているため、「ド」の音は自由に設定できる。現在の絶対音階ではなく、相対音階となっている。西洋音楽では時代ごとにジャンルが終焉するため、現在この記譜法は使用されていない。ここに一本足したのが今の五線譜。教会で楽器の使用は禁止されていたため、元は歌のための楽譜だった。

### 邦楽との比較

邦楽は各ジャンルが並行してずっと続いている。そして何より日本は歌の国である。例えば、能楽の謡曲もこの相対音階で、音程はどこからでも始めることができる。なお、歌は倍音により太古から癒し効果も高いとされている。

### カンティガ

イベリア地方に伝わる13世紀聖母マリアの賛歌（非典礼）。アルフォンソ10世は、弦楽器を弾いていたイスラム教徒、フランスからのトルバドゥール（吟遊詩人）に作曲させた。教会旋法でありながら、弦で演奏される。

## ひょうげんほうほう ＜表現方法＞

教会音楽＜Ave Maria（アヴェ・マリア）＞の旋律であるが、タイトル頭文字Aの代わりに民族弦楽器を置き、替え歌を想定して＜Reis glorios（栄光の王）＞という実際に存在するトルバドゥール（吟遊詩人）の歌詞名を冠にした。当時の人たちは教会音楽に抗って世俗音楽を派生させ現在に至っている。この教会旋法、弦楽器、トルバドゥールにより、カンティガを具現化させた。色んな要素が組み合わさった正に結晶である。



# 東京

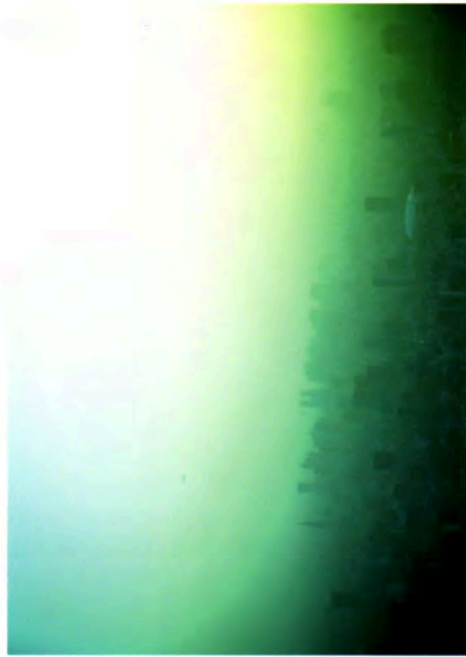
## 影 幻

くどうりざ A2 アクリル、インクジェットプリント 写真学科 東京



東京は、光と影、幻と現実の結晶のような場所だと思う  
それはとても美しい

Tokyo is like a place where light and shadow, fantasy and reality crystallize.  
it's so beautiful.



# Tokyo Illusion

Lisa Kudo A2 Acrylic, Inkjet print - Department of Photography, Tokyo

タカサカ タカ

作品名 「まだ これから」

今回のテーマは『結晶』とのこと。結晶？

今までの作品の中で、「これが私の表現したい作品だ。結晶です。」といえる満足のできる作品はない。違う視点でテーマを考えればよかったのですが抜け出せない。決めていることは、素材は和紙を使うこと。でも、和紙だからといって作風は古風にならないことを心掛けるという点です。今回は探し求めている今を表現することにしました。

押し寄せてくる思いは 迷走して下に落ちる。落ちて溜まった思いは結晶となりうるのでしょうか。また、あるものは迷走して彼方に流れていく。その先で結晶になるのか、消えてしまうか。どちらが形になるのか。

その様子を見ている目。

今後、結晶ですと言える作品ができる日が来るのか、元よりどれほど作品が出来るのか解らないが、いろいろ考えを思い巡らす事が好きなので結晶ができる日を楽しみに頑張ってみようと思いました。

作品タイトル：『My Seeds』

作家名：竹中 えり

初めて出展させて戴くにあたり、『はじめまして』の自己紹介のような作品にしたいと考えました。

これらの Piece 達は、私の好きなもの、お気に入り、惹かれたもの達です。今後これらの“私の種”を育みながら、作品制作に取り組んでまいります。

展示場所：ミックスゾーン

# New Days

岡本 愛弓

この作品は2021年にコロナウイルスの流行中に制作した作品をリメイクしたものです。

日常を分断するアクリルパネルに傷をつけることで友人たちの笑顔を描きました。

あれから3年、ウイルスと共存という形で私たちの日常は戻りつつあります。一度は失いかけた当たり前を諦めないという大人たちの努力と、今をよりよく生きたいという人々の想いの結晶が今日であると思い加筆しました。

これからも以前より一層鮮やかに日々を彩れますように。





「星とたんぽぽ」 金子みすゞ童謡全集より

詩 金子みすゞ

作曲 矢島 豪      歌唱 粥塚 舞

この曲は、作品制作2 クラシック音楽編 第1 課題の歌曲として制作(作曲)したものを、今回 塊展のテーマ「結晶」に合わせて、編曲したものです。

テキストは、金子みすゞさんの詩によるものです。今回、歌曲の制作にあたり、詩のイントネーションを出来るだけ壊さないこと、歌詞の繰り返しなどは一切行わず、原詩に忠実になるよう心掛けました。

課題としてつくった原曲はピアノ伴奏によるものですが、和音などはあまりクラシック音楽的ではないものも含まれています。パーカッション以外は、このピアノパートに書かれている旋律を基に、今回コンピューター音源で編曲を行いました。自身としては、作品制作の授業で学んだ、クラシック・ポピュラー・コンピューターの各要素を取り入れた作品になっています。

また歌唱は、ボーカリストの粥塚舞さんをお願いいたしました。聴いて頂いた方の心に残る音楽であると嬉しいです。この度は関係者の皆様、ありがとうございます。

TM20401 矢島 豪

作品名 音楽作品 —Mother 母—「乳幼児の子育てソング」

作家名 作詞・作曲・ピアノ・歌 Yoshie Isobe  
磯部 吉枝 (いそべ よしえ)

作品解説 ♡愛の結晶となって産まれてきてくれた大切な宝物の子ども達が、子育て中のママやパパやご家族、親戚の方や、保育園、幼稚園、子ども園、学校や子育て支援等の先生方、地域の方々と共に深い愛情に包まれて、さらに大きな結晶となって、子育てを楽しんでもらえますよう願って、あたたかい作品になっています。

♡わが子には、折に触れ「産まれてきてくれてありがとう」という言葉を伝えていきます。

♡産んでくれた亡き母には「産んでくれてありがとう」と感謝の言葉を伝え続けました。生き仏様のように優しく、我慢強く、どんな時でも前向きだった母は、いつも私の心の中にいてくれるように感じます。毎日が「一日一生」と思いながら、悔いのないよう人とのかかわりを大切に、自分の子どもにも心から誇れる母親でありたいと思います。

♡私が母から貰った心の贈り物を、今度は子どもにその贈り物を届ける事ができますように、心を込めてつくりました曲を聴いて頂ければ嬉しく思います。

そして、皆様の幸せを心から願います。

曲紹介

※ (マッサージは、オイルを使わず、服の上から実演できます。)

- |   |                              |                   |
|---|------------------------------|-------------------|
| ① | ベビー&キッズマッサージをしましょう!          | 3:30              |
| ② | 今日は何して遊ぼうかな?                 | 1:20              |
| ③ | あいうえ ごはん                     | 4:10              |
| ④ | お熱をはかりましょ!                   | 1:20              |
| ⑤ | おしっこできるかな?                   | 1:00              |
| ⑥ | おひるねしましょ!                    | 1:15              |
| ⑦ | 今日のウンチ💩はどんなかな?               | 0:50              |
| ⑧ | あいうえ おやつ                     | 4:10              |
| ⑨ | ゆうやけ おつきさま                   | 2:00              |
| ⑩ | うまれてきてくれてありがとう♪<br>ハッピーバースデー | 3:10              |
| ⑪ | メノール保育園                      | 1:50              |
| ⑫ | だいず・げんまい・うめ・ごまさん             | 1:59              |
| ⑬ | 薬草さんの力を知っていますか?              | 3:30              |
| ⑭ | 砂浴(すなよく)しよう!                 | 5:19              |
| ⑮ | お百姓さんの歌                      | 3:33              |
| ⑯ | シップを作りましょう!                  | 2:14              |
| ⑰ | 人生は根の如く心の如く                  | 6:14 全17曲(47分25秒) |

本日はお忙しい中、お聴きいただきありがとうございますございました。

# M14 : yumi 「チカラの結晶」

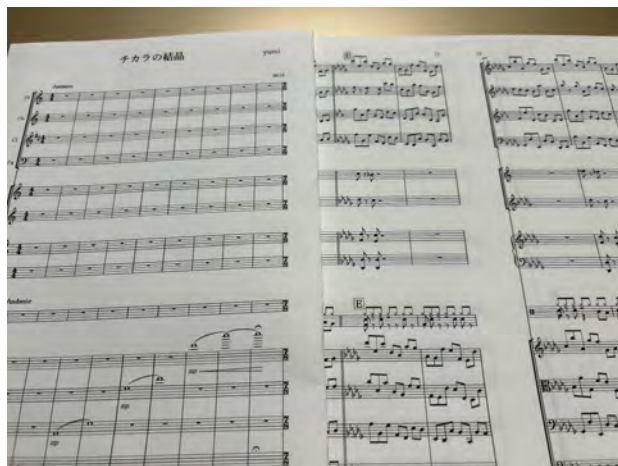
第17回塊展に出展する大阪芸術大学グループ 7 つの学科の絆を表す **音の結晶**

## 『7』の音楽

ベースとなっているのは、音の階段を 7 つずつ  
上り下りして作った 7 拍子の音楽

例えば、[ド]は7つ上の[シ]または、7つ下の[レ]に進む  
というルールを基本としています。

打ち込みで制作すれば容易に仕上がるタイプの音楽で  
すが、それではグルーブ感が足りないと感じたため、  
全パート自身で演奏しました。



## 音響デザイン

アートのチカラで、未来を担う子供たちに明るい未来を…

そんな願いを込め、保育学科を表す”子供たちの笑い声”を中心に配置し、色んな方向から  
色んな学科を表す音が聞こえて来るようにデザインしました。



## yumiプロフィール

奈良県立高円芸術高等学校音楽科にて声楽、ヤマハ音楽院大阪にてエレクトーン、大阪芸術大学にて電子音響音楽、  
国内外の教会音楽アカデミーやマスタークラスにてパイプオルガンを学ぶ。

エレクトーン奏者としてオペラやミュージカルの公演に出演、オルガニストとしてオーケストラや合唱団と共演、  
作編曲家として各種イベントやテレビCMの音楽を担当するなど、充実した音楽活動を展開中。

日本オルガン研究会、日本電子キーボード音楽学会、東京国際芸術協会、日本童謡学会、各会員。

地域音楽コーディネーター、日本アロマ環境協会ナチュラルビューティースタイリスト、色彩心理セラピスト。